

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	笑顔 真心 信頼のある介護	日々、朝礼で復唱している
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々、笑顔で挨拶を交わし、真心の気持ちで介護する	管理者と職員は、気軽に話し合っ、お互いの考えを前向きに対応している
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	笑顔で挨拶したり、気軽に立ち寄って下さるよう、声掛けしている	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所の方々から、畑に植える苗や野菜をいただき、畑の指導もしていただいたりしている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	千葉南病院の納涼祭参加 地元の行事などに参加(敬老会) 地域協力部(4月1日より発足)	平成20年4月29日、地域協力部、ご利用者と職員一同で町内のゴミ・缶拾いに参加して、町内の方々と、交流を図っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内の夏祭りに、ご利用者と職員が参加して、盆踊りを一緒にして、過ごしている		7月26日 千葉南病院の納涼祭に全員参加 8月14日 町内の夏祭りに参加
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、又、運営推進会議や家族会で外部評価の結果を報告している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第1回を9月29日に行い、地域の方、民生委員、ご家族の代表の方々が参加されている		第2回より、2ヶ月に1回、運営推進会議を行っている
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市、区役所への交流があり、質の向上に努めている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度 対応者が発生している方がおり、現在見極め中		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めている 管理者は身体拘束、虐待防止に努め、研修を受け、改善に向けている		平成20年8月1日より、身体拘束医院を中心に、管理者と職員一同で、身体拘束・虐待ゼロを目指して対応しています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	運営者、管理者、フロアー長が契約に立会い、説明し、理解して頂いている		契約時、契約書を必ずご家族に復唱して、納得していただき、契約されている
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情を傾聴し、その都度対応している (苦情担当者2名)		ホームの草刈など、ご利用者も職員と一緒に参加して下さり、汗を流した後、皆さんで「お茶」の時間を設けて苦楽を共にしている
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態、不調で受診する際には、管理者及びフロアー長がご家族に連絡をとり了解を得ている。 又、個人の金銭出納帳も、ご家族の面会の時などに提示して確認を行っている(領収書を家族へお渡ししています)		平成19年12月22日 家族会を行っている 平成20年 9月14日 第2回家族会実施予定
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情を受け入れ、担当者が解決に向けて話し合いをしている		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	その都度対応している(運営者)		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	外出や外食、受診等で配慮しており、又、行事の時など勤務調整している (納涼祭、敬老会など、計画している)		6月15日 小旅行「ひめはるの里」 7月26日 千葉南病院納涼祭 8月14日 町内盆踊り
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム内にて、1・2階の職員の異動はあるが、利用者のダメージは見られない		職員1・2階共に落ち着いており、今は特に人事異動はなし

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	勤務しながらヘルパー2級を取得されたり、研修等で情報交換し、学んでいる	事務局にて研修を研修を行っている
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	千葉連絡会などの研修会に参加し、同業者の方々と交流し、質の向上に努めている	平成19年11月1日「ひこうせん」にて、みどりの家の利用者が人形劇を見せていただいて交流されている 平成20年7月4日 みどりの家にて、「ひこうせん」の方々とスイカ割とお茶会を楽しまれている
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	フロアー会議時には、場を変えてお食事をしながら職員の意見を傾聴し、ストレス解消に努めている	運営者は、各職員に、公休日にはそれぞれのやり方でストレスを解消するよう声掛けをうながしてくれている
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	運営者は、管理者等に、職員の勤務希望を把握させ、シフトの調整に努めている	金銭のことや、希望公休・年末年始の公休等を、管理者を通して調整させ、職員が安心して働けるように努力している
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	日常の生活の中で、常時傾聴している	千葉市の相談員の受け入れをして、常に相談に努力している
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	気軽に面会できる雰囲気作りと、職員の教育(いつでも明るい挨拶)常時、責任者1名が常勤している	家族が密に連絡をとったりして、職員と家族が仲良くされている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、家族に連絡し、早期対応をしている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の性格と生活歴を把握し、馴染める環境づくりで工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	頑張ってきたときは、共に喜びを共有する 足りない部分では、支えあえる努力をしている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に、日常のありのままの姿をごほうくしたり、ケアプランにより現状を伝えている 又、家族の悩みは、その都度責任者が時間を作り対応に努めている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	良い関係の家族は、継続できるように接している 又、そうでない家族場合は、職員が間に入り、打開策を常時検討している		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が、知人や友人に手紙を出すときに、職員が代筆などを行っている		利用者が、友人(同級生)に電話をかけたいと訴えがあり、取り次いで支援している
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の性格を見極めながら、孤立させないよう配慮している		利用者同士、皆仲良く、選択干しや取り込み、洗濯物たたみ等と、利用者職員で行っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所(元気になり)され、自宅へ戻られた方がおり、当ホームの近況を把握している先方からも、当ホームへ情報を下さっている		3月に入院され、老人保健施設で過ごされている方がおり、時々伺ったり、家族と電話でやり取りをしている
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員全員でアセスメントに参加して作成している		ケアカンファレンスを開催している
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から、現在、これから先まで基本情報を書類に記載している		日常生活をしている中で聞きだしたりしている
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の変化が気付ける職員である事に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見を基本に介護計画を作成(医師も含む)		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常時見直している 入退院の時など、必要な関係者に、現状に応じて行っている		介護計画 入退時、見直しが必要だが、なかなか出来ないのが現状 徐々に行っていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録とチェック票(バイタル・その他)活かし、介護計画、作成が行われている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の要望を活かし、個別に支援している (眼科受診、買い物、入院時の手術などで立会いなど)		眼科受診を行っている 個別に買い物にお連れしている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	誉田交番の警官の方が、常に当ホームのパトロールを行ってくださっている		パトロールの際、利用者と職員が玄関へでて挨拶をしたり、冷茶を差し出したりして協働に努めている
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	個別に通院、リハビリの支援をしている		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働している		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と密な連絡を常に行っている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>提携病院の看護師さんが定期的に訪問していただき、日々の健康管理を行なっている</p>		<p>看護医療連携体制を実施している</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>認知症が進行しないよう、2日に1回、洗濯物など、回収に伺い、情報収集・修得をしたり、早期退院に努めて支援している</p>		<p>現在も入院中の方がおり、入院先に伺い、励ましたり、洗濯物の回収などに努めている</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>常に医師と家族、職員とが連携をとり、終末期のあり方について職員全員共有している (入院された翌日、亡くなられた方がいるが、ご家族は、出来るだけ、ホームで終末期を迎えてほしいとの要望があり、応じた)</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>常に見極めを行い、本人の意思を尊重して、チーム(家族、職員)としての支援をしている</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>外泊を試み、ダメージの有無を見極められるように努めている (ホーム 自宅)お試し入所を行い、同様に努めている (自宅 ホーム)</p>		<p>日帰り体験を行っている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを守り、言葉掛けや対応には十分配慮している	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望に傾聴し、その人らしい支援(生き方)をしている	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		その人の希望に応じて支援しているが、職員側の都合で支援している時もあり、その人のペースを大切に、介護に努めていきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望を可能な限り支援している	女性の利用者 皆おしゃれで、気染めを希望されるので職員が対応している
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事作りや、後片付けを行っている	畑で収穫された野菜を利用者と職員で調理して、食卓に上げている
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	出来ている	利用者の方で、タバコを吸う方がおり、職員が付き添って支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレのタイミングを把握し、トイレ誘導及び声掛けを促し支援している たまに失敗がある時は、さりげなく交換し、羞恥心に配慮している		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外はいい湯がわいています いつでも入浴可能です		重度(歩行不可・立位不可)の方が機械浴を使用されており、安心して入浴できるよう努めている
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	状況に応じて対応している (座敷等利用されたり)		浮腫のある人がおり、日中、座敷で両足をきよ挙上して過ごせるよう支援している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	切り絵や、刺繍、雑巾作りをされている		季節に合った作品を作成して楽しんでいる
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の依頼により、手持ち金がほしいと訴えがあり、ご家族の預かり金からお渡している 又、デパートや外食に行かれ、各自が支払いできるように援助に努めている		レジにて、品物に似合ったお金を渡して、各自が支払いされている
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者全員が参加して下さるので、その日の全員の体調により、急に出ることもある		出来るだけ外出できるよう努めているが、急な受診等が入ると希望にそえられない場合がある
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別で対応できている(入居前に生活されてた自宅へ、個別で2回ほど行かれて、ご本人が喜ばれていた)		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により、手紙の代筆や電話の対応を行っているが、警察に電話してくれといった場合には、職員の携帯電話等で対応している		早朝6時前から、息子に電話をかけたいと訴えがあり、職員の携帯で対応したり、7時頃まで待っていただいている
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	どなたでも気軽に訪問しやすいよう努めている		明るく笑顔で対応している
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員を2名選出して、管理者及び全職員で身体拘束ゼロを目指している		身体拘束の研修を受け、職員全員に、拘束しないケアを呼びかけて対応している
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	オープンにしています		自由に畑へ行ったり、ホーム敷地内の散歩に行けるように対応しています
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	必要な時に言葉掛け、声掛けの対応をしており、夜間では、巡視1時間ごとに見回り、所存の確認に努めている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	要望(爪きり、はさみ)に応じて対応している 又、夜間保管に努めている		包丁、はさみ等を、鍵のかかる場所へ保管して管理している
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告書等を活用し、事故防止に努めている		消防署の方に来ていただいて、火災報知機の練習や、避難誘導の指導を受けている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当、初期対応の訓練を定期的に努めるよう心がけている		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害発生時に備えて、職員の緊急連絡網を活用して、協力をえらるよう呼びかけている		地域の協力は得られないが、消防の協力を得て、今後の課題としている
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランにのっとり、家族との話し合いを持っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見を心がけ、情報を共有し、医師との連携で対応している		職員同士、細かいことでも申し送りされており、早め早めの対応がされている
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬箱に薬の内容を提示し、不安を感じたときは、職員間で確認し、医師に相談したりして対応している		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量、食事量、又、排泄チェック票を照らし合わせ、便薬などで調整を行っている		適度なりハピリや運動を、職員が促している
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアを行い、歯科医との連携をとり支援している		食後も口腔ケアの促しをしたり、一部支援も行っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に食事形態を考え、工夫したり、水分量のチェックで栄養確保に努めている		きざみ食や、ミキサー食で対応している
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	医師との連携をとり、マニュアルやアドバイスを活かし、その都度対応している		うがい、手洗いをこまめに行っており、清潔に努めている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材業者との連携、保存方法の工夫、又、手洗いやエプロン(食事に交換)、消毒の徹底に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関がバリアフリーになっており、又、庭先など、お花を植えたりと、工夫に努めている		ご家族がお花を差し入れて下さるので、玄関の周りに植えてきれいに咲いている
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と共に空間作りを行っている		四季に合った作品を、ご利用者と職員が考え、作品作りをし、リビング、廊下、玄関前に飾っている
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士、気のあった方々がリビング等で昔話をしたり、デッキでも過ごせるよう工夫に努めている		お座敷で足を伸ばして、お喋りしたり、お茶を飲んだりして過ごされている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が、生活に慣れた家具を持ち込み、居室におかれ、居心地良く過ごせるよう努めている		家具等については、危険防止のためと圧迫感をなくすため、腰下位の物をお願いしている
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気に努めているが、利用者が戸締りをしてしまう為、職員が後から回って換気に努めている		換気とエアコン調整をこまめに行っている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや入浴機がバリアフリーなど、自立した生活環境の工夫に勤めている		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	1人でできる事は職員が見守り支援している 混乱している時は、安心してできる言葉掛けをしている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑や動物と楽しみ生活されている 又、庭のお花に水をまいたり等している		庭先に野鳥がたくさん来るので、利用者が餌をまいたりして、日々の生活の中で生きがいとしている

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

大切な命をお預かりしていることを念頭においている

人生の大先輩から色々学んでいる

日常生活をのびのび暮し、その人がその人らしく生活できるよう、私達は真心を込めて支援している